

### ■フランス : Engie 社、アジアで 10 億ドル超の石炭火力発電所売却を検討

2015 年 8 月 18 日付報道によれば、フランスの大手エネルギー事業者 Engie (旧 GDF Suez) がアジア地域に保有する石炭火力発電所の持ち分売却を検討している。対象となったのは、インドネシア最大の IPP 事業者で Engie が 40.5% を保有する PT Paiton Energy 社 (204 万 5,000kW) と、同 74% を保有するインドの Meenakshi 発電所 (2013 年 12 月時点で 30 万 kW が運転中で、他に 70 万 kW が建設中)。売却額は 10 億ドル超となる模様。フランスのサパン財務相は 2015 年 5 月、国が支援する事業者をよりクリーンな燃料へ向かわせたいと語っており、株式の 3 分の 1 をフランス政府が保有する Engie は、メストラレ会長のもと再エネへの動きを加速させている。